

出張町長室 中学生からの提言を町の仕事に取り入れます!

広報かんだ 6 月 25 日号(7 ページ)・8 月 25 日号(4 ページ)でご紹介した、町内中学校へのお出張町長室。当日は各中学校の発表班から画期的な提案を多数いただきました。今回いただいた、たくさんの提言の中から、町の施策への活用の仕方も含めて各校一つずつ紹介します。

出張町長室で中学生からあがった提案

新津中学校 3 年 4 組からの提案

荻田町のブランド力向上のために

- ・町主催のボランティア活動の拡張
- ・給付型奨学金の設立・拡充

↓
YouTube などの SNS で紹介し、
知名度アップ



荻田町のブランド力向上のために



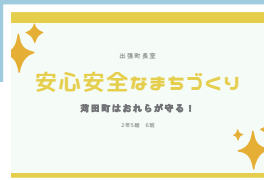
荻田町からの回答



ボランティア活動の充実や、給付型奨学金など町のイメージ向上の取り組みについては、もっと参加しやすい活動の検討や、奨学金の返還奨励金制度の浸透を進めます。取り組みを知ってもらうこともイメージ向上につながるため、YouTube やInstagram にて紹介します。中学生にも興味をもってもらえるような内容を検討します。

荻田中学校 2 年 5 組からの提案

カーブミラーをモチーフにしたキャラクターをつくり、小中学生に交通安全を学んでもらう



荻田町からの回答



キャラクターはカーブミラーの存在や交通安全を PR するのに大変効果的であるため、交通安全の啓発グッズに使用します。



考案されたキャラクター
「カブオン」

今回のまとめ



今回の取り組みでは、中学生の皆さんから「荻田町の将来」について色々な視点から提言、意見をいただきました。

当日発表した班以外のもも含めると、提言のテーマとして多かったのは「学校の環境に関すること」、「公園や遊び場に関すること」、「こどもの居場所に関すること」でした。

「こどもの居場所」については、今年度策定する「こども計画」の中で、今回の意見も併せて、子ども、若者の皆さんが必要としている居場所について検討を進めます。

その他の貴重な提言についても、今後の町の仕事の参考とさせていただきます。